

第6回ワーキンググループ議事録

1010

日時 2013年9月19日(木) 風のホール 19:00~20:35 マスタープラン勉強会
20:45~21:30 ワーキンググループ

参加者 坂下恵子、都築徳紀、橋寛憲、堀田まゆみ、靱山勝人、山田美代子、山田亮、
(順不同) 青山恵、池田真子、伊東江利子、岩瀬信廣、浦川正、大島令子、加藤裕美、
近藤均

〔世話人会〕生田創、加藤良行、佐藤雄亮、島田善規、広中省子、山崎沙知 21名

第1部 マスタープラン勉強会(講師:清水裕之教授)…参加者 42名

ー休憩ー

第2部 第6回ワーキンググループ

メンバー15: 第6回ワーキンググループ(以下WG)を始めます。世話人会のメンバー8さんの参加が難しくなった。後任としてマスタープラン(以下MP)の策定委員も務められたメンバー27さんを推薦したいがどうか。みなさん承認いかがでしょうか。

一同: 拍手

メンバー15: ありがとうございます。メンバー27さん一言どうぞ。

メンバー27: よろしくお願いします。

メンバー15: それでは今日の議題に入ります。今後どのようなテーマで話し合うべきか気めなくてはいけない段階。世話人会からの提起ではなく、みなさんからこういうテーマにすべきでないのか出してもらうのが良い。MPの勉強会もそのために。今日配布した分厚い資料は、ワークショップ(以下WS)の意見とか、モニターの意見とか生のデータです。参考にしながら、みなさんからテーマのキーワードを出してもらいたい。

では、資料の説明をメンバー20さんからどうぞ。

メンバー21: その前に。「世話人会」と言うがあくまでも「世話人」。実行委員や決定機関とか事務局ではないのに世話会で9時間も議論するのは信じられない話。とりまじめに関する世話にとどめてもらい提案やリードをしないようにしてほしい。あくまで主体は我々メンバーであり、話し合いの時間を多く取るためにあいさつも短くしてほしい。みんなの貴重な時間です。

メンバー15: わかりました。

メンバー20: 資料の説明をします。今後テーマをしぼって話し合いをしてはどうかという提案です。今日の最終的な願いは、郵送した資料の最後のアンケートの②にWGで話し合う必要のあるテーマをキーワードで書いてほしい。何項目でも良い。このキーワードを元にこれからのテーマを幾つか、一つ二つではなく、選び出していきたい。9/29までに文化の家に提出してください。

これまでのWGの流れとこれからの流れは資料1のとおりです。次回7回はテーマを切り取る話し合いとしたい。切り取りができれば、そのあと3回程度とあ

るのは、とりあえず今年度はそれくらいだろうと。それで話し合った内容を、中間報告と言う形でまとめることができればと思う。次年度以降どうするかは、それから。参考までに、市民優先予約制度のスケジュールを載せています。来年1月までが試行期間それ以降本格実施するかどうかの検討が行政、議会で始まる。話し合いに期限があるものの例として載せました。

今回は資料2の項目に添って、テーマを考える時に参考にしていただきたい資料をそろえました。まずは文化の家の関係者の意見。客観的な資料は、第5回WG資料7の目次案に従って順次提出の予定です。理念は今日のMPの清水先生のお話などをもとに。(資料の説明は省略)

分量は多いけれど、皆さん一生懸命やってきた色々な取組みを示す資料です。みなさんの議論の参考にしてもらえれば。(以下資料2添付資料の紹介)

メンバー15：ではみなさんご意見は。

メンバー21：公正な判断をするうえで貴重な資料で良いと思う。企画委員会議事録はなぜ非公開か。

メンバー29：運営委員会は諮問機関なので公開しているが、企画委員会はあくまでも公演の企画を決める段階の委員会で、一般的には公開をしていません。契約金額だとか、アーティストの評価などについても発言されるため、アーティストにも影響を及ぼすので。

メンバー21：自主事業の企画に関しては文化の家の重要な要素なのでは。個人名や金額など伏せて、公開できる部分をダイジェストでも抜粋で提示してもらうことはできないのか。

メンバー29：考えさせてください。

メンバー21：わかりました。市民優先予約制度については、具体的で、期限があるならWGではなく国会の予算審議会のように専門部会を設けて検討して、それをWGに諮ってはいかがか。

メンバー20：確認ですが、専門部会で何回かかるかわからないが5人なり10人なりで議論して、更にWGで20数名で議論する段取りの提案ですか。

メンバー21：専門部会で大体固めた話をWGで承認してはいかがですか。

メンバー20：その理由は？

メンバー21：時間が限られている中で全体から見ると部分的な実務的な話を全員で話すよりも、緊急の問題だから、専門部会が短期間でまとめたものをもとに話した方が時間のロスが少ないのではないかと。言う事です。

メンバー15：今のお話しはWGで話し合うテーマの一つとして市民優先枠を取り上げても良いということですか。

メンバー21：そうですね。

メンバー15：WGで今後テーマを絞っていく中で、市民優先枠が皆さんの中で重要と感じられるようであれば取り上げていくと言う事で、この場ではしたいということで、どうでしょうか。

メンバー21：市民にかかわる事なので、文化の家が批判や誤解を受けないように問題を解決すべきだが、かなり具体的な問題なのでWGで人数と時間をかけるのではなく、専門知識や意見のある人が集まった方がいいのではないかと。NPOなどでも、

作業部会で意見を出して全体会議にかけるような形でやっていて効率的。皆さんはいかがでしょう。

メンバー7：市民優先制度をWGで議論して、賛否両論あるだろうが、一体何が生まれるのかと思う。例えば、文化の家の子ども絵画コンクールの結果が報道されているが、表彰者7名のうち市内の子は1名だった。それをどう評価するか。そこで市内の子が優遇されないのは何故かなんて話になるとおかしな方向になる。市民優先制度について自分なりの考えを持っているが、付託された運営委員会の会議で議論されているのに、何も権限を持っていないWGで話し合っても無意味ではないか。

メンバー34：市民優先制度はまったく知らなくて、既に試行が始まっている事も今初めて知った。開始前に制度について話し合うならわかるが、既に始まっている、試行実施されているものに対して何を議論するのか。続けるのだということなら別だが、清水先生の話聞いて、私はどうなのと思ったが、制度に否定的な人の立場から見ると、既に手遅れな気がする。今話し合うことがどういう意味があるのか。制度を肯定するための裏付けとしてなら今からでも可能かもしれないが、私は違う意見なので、ここで話し合う意味と意義は？良くわからない。

メンバー20：まだ市民優先制度をテーマとするかは決まっていないが、アンケートを答えるうえで意味があるかどうかに関わるので、推測を交えて話します。試行実施と本格実施を分けたのは、当然試行から本格実施に移る際に見直しがされると考えます。そういう意図をもってこの制度が始まったと考えられると思う。だから、今話し合うのは意味がある事で、意見を言いたい人にとってはベストのタイミングだと思う。メンバー7さんの話も、何か言いたいと思っている人にとっては、その意見が押えられことになるのはいけないと思う。

メンバー7：さっきの絵画コンクールの話は、長久手の子どもを優先すべきだという意味で発言したわけではない。よく他のところでも長久手を優先すべきと言う意見を聞くが、それが子どもにとって有利になるわけではない。市民を優先する制度の議論をしたら、いろんな立場の人が、いろんな意見が出てきて、とても収集がつかないだろう。付託されている委員会が2つもあって、そこで議論が尽くされているならば、このWGで議論をする必要はないと思います。

メンバー34：移行する時に継続や廃止の判断をするために試行と本格実施を分けているのはわかるが、その評価は誰がどこですか。WGは評価する場のひとつなのか。そのために集められたのなら、もっと早く教えてほしかった。WGが評価の一つになり得るのかの立ち位置がわからないので、取り上げるべき課題かどうか判断しかねる。

メンバー15：WGのテーマとすべきかや、専門部会の立ち上げなど色々な意見が出ましたが、これも話し合うことだ。今日は時間も迫っているので、次回のWGで。9/29までにアンケートを提出してください。世話人である程度整理して皆さんに提示しようと考えています。

メンバー27：最後に、WGがどういう場なのかは、今までに何回も話して「決まっていない」と言う話になったと思う。付託されているかどうか、フラットにどうしたいのか考えればよい。時間がかかりすぎるからこのテーマはここで論議すべきじゃないという意見もおかしいし、運営委員会で話すべき議題だからここで話すべきでな

いというのもおかしいし、そもそもこの会はそういうところなのかどうかも分からないと言うのも、それもおかしい気がします。だからこそ、みんなでテーマを出して行こうとしている。

この話は運営委員会でも話し切れなくて、だから試行期間などという事になっていて、決められなかったからこそ行政も困っているわけで、みんなの意見をどこかで聞いて、それで決めようとしているのではないかと。その場所が運営委員会だけでは足りないのではないかと。だから WG が作られて、それでみんなで議論しようとなったと私は捉えています。その結果がどうなるかは分からないが、理念などを聞いたうえで、いろいろな意見の人がどこかで折り合っていくしかないのではないかと。市民全体の声になるかはちょっと分からないけれど、なるべく公正になるように今回の資料を出した。ある一定の報告なりなんなりを、どこかが決めていくときの参考にされて、誰が決めたのこれは、という時に、出来るだけ市民の声を聞いた上で決まりましたと言えるための会にしたいと思って参加しています。意見を封じないで、テーマを皆で出せばいいのでは。

メンバー12：現在、市民優先団体は運営委員会において3団体が認められています。その内文化協会加盟サークルが2団体です。その中の1団体に加盟している会員6名が、本日の第一部、清水先生講演の「MP 勉強会」に参加していました。この団体は「今年は旭のホールですが、来年は市民優先制度により文化の家・風のホールが予約できています」。講演終了後にちょっと感想を聞きましたが、「清水先生の話聞いて、俺ら優先枠で悪いのかなあ」とも。今日は一般の人参加する形で、考えてもらえて良かった。こういう機会を私たちは作っていくことが大切。これは小さなことかもしれないが、大きなテーマだ。

メンバー15：明日につながる話ができた。ありがとうございました。